

2015年2月9日(月)「生徒を伸ばす! ピアノレッスン大研究」(添田みつえ先生)レポート

現代の子供たちは塾やほかの習い事で大変忙しい生活を送っているので、効率よく上達していかなければピアノを長く続けられない。そんな中、いろいろなアイデアをもって実際に成果を出されている添田先生の実践的で効果的なレッスン方法についてお話を聞かせていただいた。

一番大切なことは「読譜力」。

これさえ身につけていればどんなに忙しくてもピアノを続けていかれる。

40分ぐらいのレッスン時間であれば、最初の10分を下記のような読譜のためのトレーニング(あそび)の時間にあてる。

*鏡(ミラー)あそび

*リズムのトレーニング(4/4拍子、6/8、3/8拍子) など

添田先生ご考案の「雪だるまのお話」で全調の調号、三和音をストーリーと「雪だるまの歌」でマスターできる。この「雪だるまの歌」が収録されている楽譜は4/15にカワイ出版社から出版予定だそう。

添田先生が強調して仰っていたことで特に心に残ったのは、生徒の練習環境をぜひ整えてあげてほしい、ということだった。

なぜならば、グランドピアノでなければ上達することが難しく、音色の違いを感じ取る力やグランドピアノでしかできない奏法、テクニックも身に付きにくいから。

具体的な例でグランドピアノでのタッチや、ソステヌート・ペダルを使ったトレーニング、練習の仕方を示してもらった。

生徒の毎日の練習曲に関しては、①毎日上げる曲(易しいもの)②1週間かけて練習する曲(次回のレッスンのため)③何か月もかけてじっくりと勉強していく曲、の3種類の曲を常に持っていることが望ましい。

①は生徒が自分で楽器屋さんに行って好きな楽譜を選び、買ってくることも生徒にとって楽しみのひとつとなる。

教える立場からも、自分が弾く場合でも実践できることがたくさんあってとっても勉強になった。

桑野智子